

小麥を一躍六千石に 増收計劃成る

荒れ果てた桑園を開拓 心配は賣れ口

昨報石城郡の小麥増殖に關する農事協議會は昨日午前十時より團体事務所を開會されたが

増殖に關しては現在

郡下の麥耕作地五百五十町歩の年收千石餘を六百餘町歩六千石に増收を圖る計劃にて今後擴張すべき耕作地の開拓は大体縣指令に基く事となつた、即ち現在郡下養蠶家は二千六百八十一町歩の桑園を有して居るが

繭價安の影響で桑園

を廢して荒地地となつて居る土地が郡下で八百六十町歩を示して居るので是れを小麥畑に開拓する模様である、尙當日參集せる各町村委員は増殖案は結構なるも是等大量の販賣法に對からず不安を有するもの、如く意見續出したが是れは村、郡、縣各農會及び信用購買各組合が

製品の販路に盡力する結果個人取引よりは餘程安全であると爲し増殖案の實現は確實性が濃厚となり早くも今秋より行はれる模様である

印紙税 検査

平稅務署の本年度印紙稅定期集會検査は来る廿一、二、三の三日間午前九時から午後三時迄同署に於て執行さる、筈にて昭和六年八月以降作成した證書と帳簿であつて當日検査を受けず又は受檢物件僅少と認めらるゝ向に對しては後日出張臨時検査を爲し違反物件のあつた際は處分される

農事傳習 神谷分場で

神谷農事試驗分場では来る十八日同所に於いて特別農事傳習會を開催するが講師は分場の矢ヶ崎技手の苗種栽培法及び本場の川上技手の秋蒔蔬菜の栽培法等である

教員チーム 雪辱戦に躍起

平第一小學校教員足球チームは来る二十八日正午より

磐中コートに於て行れる濱三郡教員庭球大會に左の如く出場する事に決定したが藤田、小林組は昨年の大會決勝戦と好間の鈴木中山組と對戦惜敗したので今年は

縣補助が未だ 目鼻付かず

石城郡豊間村の漁港修築工事には廿三萬圓の工費を以つて行はれる筈であるが同工事の縣費補助が未だに許可指令に接しないので地元民は縣補助の許可運動に躍起となり去る十五日村長鈴木藤次郎氏、漁業組合長目馬常吉氏外數名が出縣運動を起す事となつたと

豊間漁港着工難 出縣して猛運動

松英信 本多英治 吉田利雄 山崎晴夫(二學年) 小野晃平 中澤幹太郎 磯上剛 横山榮一 原雄一 岡田孝平 大平泰明 石川榮一 中村茂 鈴木満男(三學年) 龜山正邦 小松崎寅夫 鈴木善彌 櫻井弘道 鈴木重雄 松本真平(四學年) 遠藤正 青木肇 吉田博 加藤侯夫 清水重政 齊藤守夫 宮本武雄 大津賀淺吉 高階文三(五學年) 小坂隆道 藤田榮一 安齊憲次郎 大塚武治 伊關太郎 吉崎春雄(六學年) 小松公平 小林正久 山崎道雄 名

ライオン書方 平第一小學校にて

一小學校にては此程ライオン齒磨本舗の書方懸賞に應募する爲め左記生徒を選抜した

庶民金庫 臨時理事會

平庶民金庫は本日午後一時より臨時總代會を開き左記の件を附議した
任期満了退職理事慰勞金 贈呈の件 専務理事報酬 支出の件 昭和七年度上半期業務狀況報告の件

合宿練習

平商業學校柔剣道部では来る二十日より湯殿山に合宿猛練習を行ふと

磐女選手推戴

高等女學校にては来る十八日午前十一時より各体育部選手推戴式を舉行するが校長始め其他生徒代表等より各々激勵の辭がある

磐女夏休宿題

磐城高等女學校にては今夏休中における全校生に對する宿題を決定したが各學年共左の如くである
日誌 國語 習字 數學 地理 英語 理科 圖畫

磐女各主任會

高等女學校校友會圖書係、衛生係、裁縫科各主任會は来る十九日午後一時より開く

平町人事

結婚 姻
△搔搔小路二〇圓吳忠雄氏(三三)一丁目二〇野口多美(二四)
△大町二二齊藤キヨ(七)

今般食堂部を加設致しました
洋食一般出前致します
何卒御用命下さる様御願ひ致します
食堂部本日開店
料理店は従前通り營業を續けて居りますから此際倍舊の御愛顧賜り度く御願ひ致します
福榮亭
(番五二三電)町田平

貸金
何人にも簡易に
即時御用立致します
國庫、勸業、復興債券、高級質札買入並金融、恩給、年金及簡易保險(前借失効可)即時立替、債券取立
▼御報次第店員參上秘密融通
平町南町(廿三夜側)
伊東

高久病院
院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
平町田町 電話五一三番
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

質物一般
各種債券類
三井質店
平町四丁目川岸
電話六〇六番

欠席生徒増加

調査の結果は以外にも 多くは生活的な事情から 成行憂慮さる

平町各小學校に於ける欠席児童数は最近著しく増加し毎日百名以上に達してゐるので各々

受持訓導 が家庭を訪問し調査した處に依ると時節柄の食當り等も多いが其他に生活的な事情等に依つて己むなく登校を見合せて居る者あり近く之が對策につき協議する模様であるが

現在各校 には欠食児童に對しては夫々給食して居るが是れも豫算範圍内にて行はれる事として充分ならず今後の成行を憂慮されて居る

第一校で

珠算競技

平第一小學校にては来る二十五日午前八時より尋常科第五學年生以上各學年より五名宛の選手を出場せしめ珠算競技會を催すと

署長や驛長も

校外取締

意見を交換

既報平町各中等學校及び各小學校々々外監督係打合せ會

生活の荒波に

追ひ捲られて

故郷を後に 走り行く人々

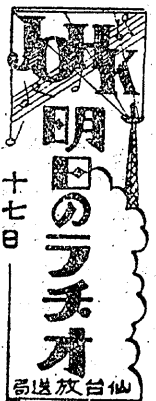
生活の荒波に追ひ捲られ出て出稼の爲め平署管内の各町村より去つて行く婦女や少年の離郷者を同署昨年

ラヂオ調査票

回答されたし

先般ラヂオ聴取者に平局から配附された「ラヂオ調査票」は放送協會に於て放送種目の大衆化と満足とを與へたき目的に依り聴取者の希望を尊重する爲めのものであるから未だ提出されぬ方は是非速やかに回答されたい

度の統計で見ると總數八百九十名に及んで居り職業別



今晩の部
後六、〇〇 子供の時間
「童話劇カナリヤと金魚」
出演者柳童話研究會
後六、二〇 ヨドモの新聞
櫻葉勇
後六、二五 カレンソトトビ
ツクス ハロルドパーマー
後七、三〇 講演「國民として國旗と国歌を尊べ」
法學博士松波仁一郎
後八、〇〇 清元と小唄

今晩の部

立花家金八外
後八、三〇 ラヂオ風景
並指揮岡本一平
後九、三一 滿洲より
「匪賊に拉致せられたる
實驗談」久留島秀三郎
後九、四〇 全國ニュース
氣象通報 番組豫告

明日の部

前六、三〇 運動講座「ラヂオ体操第二の實施に就て」東京市視學藤本光潔
前九、一〇 營養料理「王

の八十四等であつて一月平均七十人一日二人平均に平署管内から姿を消した譯になる

市原醫師講話

平商業學校にては来る十九日午前九時より校醫市原卯太郎氏を招き全校生に對し夏期休暇に關する衛生講話を聴取させると

三勇士へ

熱謝の結成

本日阿部氏から司令部に送金す

淨財九十五圓七十錢

軍人の龍鑑として後世に其忠誠を傳ふべき「肉彈三勇士」の勇猛義烈なる行爲に感激した阿部政右衛門氏が主唱となり本社後援の許に

子の肉キャベツデニ卷
煮とトマトソースマト
キャベツのサラダ添
營養研究所
前九、三〇 子供の時間
前九、四〇 「祇園會山
鉾巡行状況」京都四條柳
馬場より中繼
前一一、一〇 謠曲講座
「謠の道しるべ」二七實演
實生新 解説池内信嘉
後〇、五〇 諸國の午後
「秋田音頭」佐藤與八郎外
「岩室甚句」岩室町小龍外
五名「神樂と俚謠」戸隠神
社神樂部員「なごがた外」
靜岡縣安部郡大河内村大
村平三郎外「富樫音頭」石
川縣石川郡野々市町木村
次作外大勢「備中松山節」
仁後さき外「佐川踊」高知

明日の部

河郡棚倉小學校に於て同郡出身校長を招待し開かれる郡教育振興に關する講演會に出席の爲め今朝平發八時五十分にて出發した

長雨に災されて

驅除劑も効なく

桃果の油虫益々激烈

既報石城郡下農村に於ける桃果の産出は昨今最盛期に入つて居るが打續く長雨で平窪、大野等の主要産地では昨年倍する油虫の發生に悩み驅除劑を盛んに使用して居るが天候回復せず次ぎと油虫が發生し驅除劑の効力も覺束ない有様なので各農家は日々の天候に非常な神経質になつて居ると

平裁判便り

△石城郡湯本町字上川七番地根本三三(三)は本年三月中旬より五月迄の間無免許にて同町和田寅吉三男常之助外三名を千葉縣方面へ世話を受取り營利職業紹介事業取締規則違反として罰金二

縣高岡郡佐川町渡邊力馬外「安來節」堀川殿子「正調はかた節」はかた仲津見番澤代外「新小唄」小倉町長二外五名
後三、二〇 薩摩琵琶「城山」長濱南城
後六、〇〇 子供の時間
音樂童話劇「鳥と鼠」金の城音樂童話會
後六、三〇 講演「避暑地の選擇と衛生上の注意」阿部忠一
後七、三〇 名曲鑑賞「第六回小唄」解説町田嘉章
後八、三〇 「ヴァイオリンとピアノ」名曲定期演奏「ヴァイオリンアレキサンダー」モリマンアレキサンダー
後九、〇〇 長良川鶴飼狀

平職業紹介所報告

△双葉郡浪江町大字權現堂字御殿南六番地松本正雄(三)及び同新字町場九番地荒金芳美の兩名は昨年八月三回に亘り同町若林製糸工場浪江分場女工寄宿舎に忍入住居侵入罪として各罰金二十圓に本日各々平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

求人部

△女中 三十五才 尋卒
三圓外仕着(平町某)
△女中 二十才迄 高卒
給料面談(平町某)
△出前持 十六才迄 尋卒
給料面談(平町某)
△求職の部
△土工夫 三十八才 尋五
修給料面談(平町某)
△染職工 二十二才 商工
學校卒 給料面談(赤井村某)
△炊事婦 三十八才 尋卒
給料面談(小名濱町某)

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演
近藤 紫雲 畫

第三百席

眞庭念流達人櫻井五助

林藏を無事に落す

秋山要介は妙見堂の縁に置いた行李の薬を取り出し、それを傷口へ貼り用意の白布を出して確りまいて自分も傷の手當をした、其他丈右衛門、藤藏、周作にも傷の手當をして遣り

要「さて林藏貴様は是から伊勢へ行くが目的だ、俺にかまはず此處を去れ」

林「先生あなたは是からどうなさいます」

要「俺は古川の代官所へ訴へて出る、イヤ博奕打を相手に喧嘩をしたとは云はぬ東海道に参る途中天神ヶ嶽に於て數十人の賊に出遇ひ據なく之れを斬りすてたと申し出る」

林「デハ先牛わたくしも御一緒に訴へて出ませう」

要「イヤ貴様を出すほどならば俺は訴へては出ぬ」

林「思召は有難うございませうが、先生に御迷惑をかけたは相済みません」

供をいたします」
要「さうか、それでは一緒に行け、時に林藏、是から二里程参ると鯉澤の一番船が下つて来る、左様さ朝の五ツ頃であらうか、それに乗つて岩淵に出る又此後の



事心配いたすな、俺が引受けた」
と秋山要介は林藏を無事に伊勢の白子に落したい爲に丈右衛門を連れて市川の代官へ訴へ出ました、其口實は甲州より東海道に出る途中富士川べりの天神ヶ嶽まで参ると多勢の賊を取捲

かれ所持金を差出せと責められたが我々も武でそれば賊の脅しに恐れず金子を奪はれては洵に恥辱、それに因つて門人岸丈右衛門と共に其奴等を斬つて捨てたと申し立てた、そこで代官山本次左衛門は部下を伴れて天神ヶ嶽に出張すると多勢斬られてゐる之を見て秋山要介の剣法に達し居るに驚いた、しかし人を殺した事であるから要介に丈右衛門は江戸へ送られ公事方勘定奉行大川六左衛門の手にて銘々調べられた上一時揚り入を申し渡された、牢

に半年程居つたが要介の申し立てが通つて放免になつた、長い間牢にゐたこと、て身軀も疲れてゐる上州の伊香保に來て養生をいたし今度は下野の那須の温泉へ來て遊び、翌年の十月に丈右衛門を伴れて武州入間郡赤尾村の磯五郎の許に來た

この磯五郎は林藏の實父で領下松平大御守の御用聞きこれを目明しと云ふ、近頃は十手に捕縄を納めて百姓をしてゐる、孝行者の林藏が他國に走つたに就て心淋しく暮してゐる

いまして、それに先生も御存知の通り稼業柄に似合ず親にはまことに優しくして呉れます、それを思ひますと林藏が戀しくなりましてさりとて呼び返す事もならず、何うしたものでございませう」
とホロリと涙を流した

磯「磯五郎三三年前はぬ内に大層年を老つたな」
磯「先生貴郎は何時もお若いかわたくしは一日一日と身軀も衰へ從つて氣力もございませぬ、時に先生貴郎は江戸の公事方御勘定のお調べを受けて入牢になつたと聞きましたか」

要「半年餘り丈右衛門と共に揚り屋に居つたが行燈と油のない國とは聞いたが牢は暗い所だな」
磯「左様でございます、明い身分の者の行くところでございませぬ」
要「それで俺が牢に行つたそのわけを聞いたか、貴様の伴林藏を無事に伊勢に落すために富士川に沿うた天神ヶ嶽で甲州の長脇差を斬つたためだ」
磯「その事は承り居りました林藏の助かりましたは先生のお慈悲有難いことだと伴の許からも手紙で知らせて参りました」

科人婦・科外
院醫坂井
町田町平
番九五五話電

印刷御用命
て總は命用御
印刷日每常
株式會社
番〇三六話電

季節御料理
柳川 一人前 金二十五錢
うな井 金三十五錢
蒲燒 金五十五錢
金五十錢より

旭硝子株式會社製品
赤菱印
板ガラス
菓子食器
硝子壺
其他各種

松崎硝子製作所
平町新川町(電話一四三番)
仙臺市榮町(電話五九七番)

夏の御調髪は是非どうぞ
明るい感じ！清々しく
電気バリカンの爽快な刈込み
氣持よいシャワー電気アイロン
電気マツサチの上品な仕上げ
□キツト皆様の御氣に召す御座いませう。
そして……御上品にと心を籠めてお刈する當理髮舖の優秀なる御調髪をぜひ一度御試めし下さい。

石崎理髮店
平町(電話一八八番)

中村齒科醫院
平町鍛冶町七